

Blue Chip Consulting

企業再生再建事業

2012年1月10日

株式会社ブルーチップ・コンサルティング

代表取締役 大木健司

1

事業概要

■ コンセプト

日本経済、日本企業の先行きには明るさが見えません。リーマンショックから欧州危機といった海外発の危機、東日本大震災、少子高齢化等の国内問題まで要因は様々です。我々は、その一因が複雑に絡み合った利害関係にあると考えます。そこで、日本再生再建ファンドを活用し、日本の中小企業の再生、日本経済の再建を目指します。

■ 投資戦略

■ 資本戦略(債権系)

- ・利害関係の調整
- ・価値の相違
- ・流動性とタイミング

■ 経営戦略(再生再建系)

- ・ハンズオン支援による、事業の集中と選択
- ・財務体質の健全化
- ・事業承継による、魅力的な投資機会

■ チーム

- ・チームメンバーは事業会社およびコンサルティング会社、証券会社の出身者、弁護士、公認会計士などさまざまな分野での経験があり、多面的な経営支援が可能なメンバー構成となっています。

■ 投資実績

- ・既存設立6ファンドでの出資額は約5億円、調達総額は約7億円です。
- ・MFIC社株価(本資料9ページ参照)は、当初の5倍(US\$ベース)です。

資本戦略(債権系)

■ 対象債権

- ・償還期限(満期、繰上げ)到来ファンド
- ・早急な現金化を要するファンド等
- ・上場中止企業の株式
- ・事故債権(償還遅延)

■ 投資方針

- ・投資金額: ~1億円
- ・新株主(買い手)を確保した上での取引
- ・保有期間: 平均3カ月

■ 流動性の向上

- ・利害関係者の整理(株主再編、金融機関の債権放棄)による企業価値向上、企業再生促進
- ・現金化による損金計上(減損処理)促進

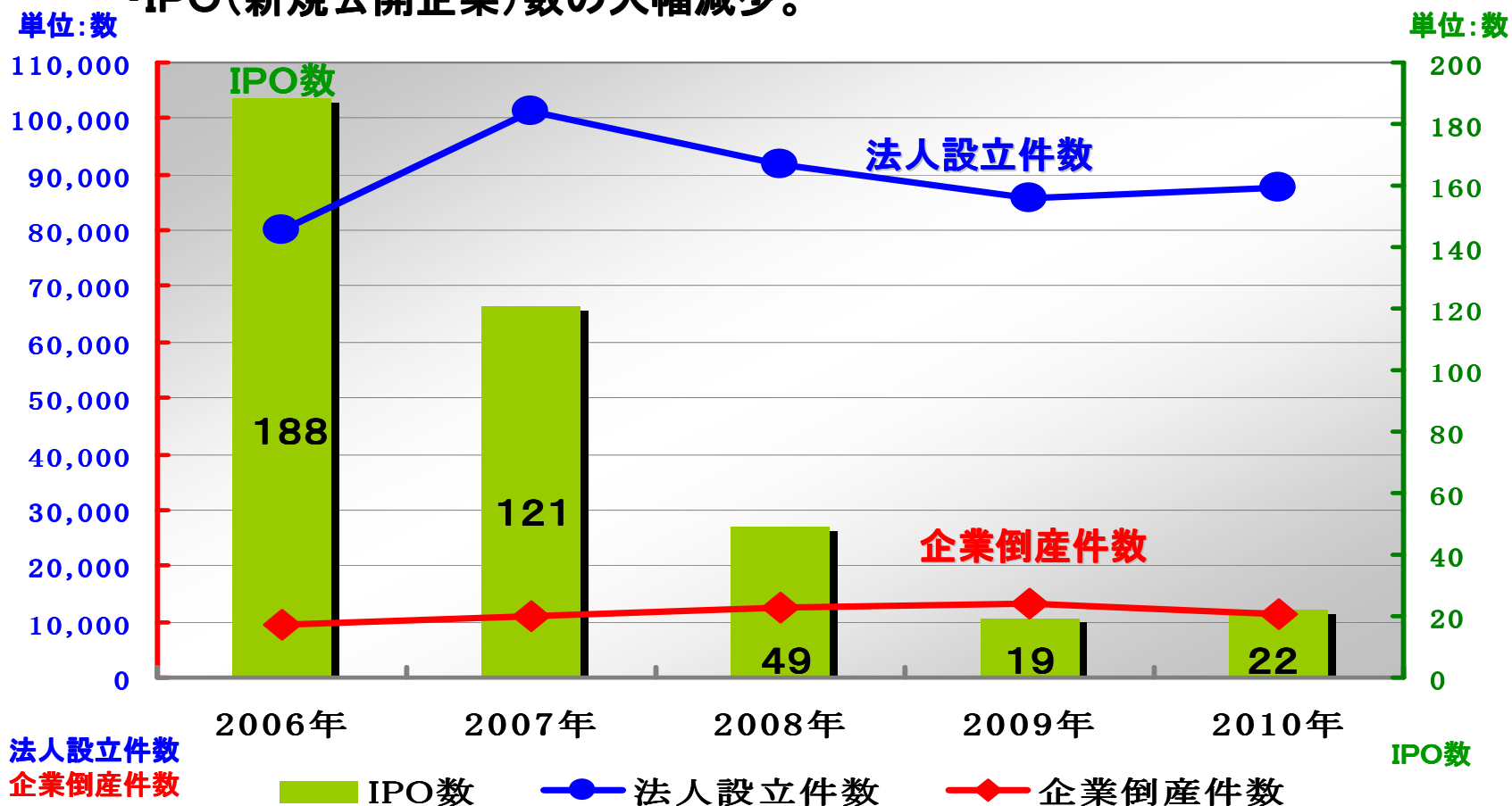
■ メリット

- ・金銭以外でのメリット実現による割安購入
- ・経営陣による買収促進 (MBO)
- ・資本関係の再構築によるビジネスチャンスの拡大

日本の中小企業、ベンチャー企業を取り巻く状況

■ 日本の中小企業、ベンチャー企業を取り巻く環境は厳しい。

- ・法人設立件数の減少
- ・企業倒産件数は横ばい(2011年度は東日本大震災の影響が予想される)
- ・IPO(新規公開企業)数の大幅減少。



出所: 法務省統計局、野村総合研究所のデータを基にBCCが作成。

資本戦略(債権系)フロー

- ・ファンドの償還(満期、繰上げ) = 早急な現金化
- ・上場中止企業の株式 = 不良債権

旧株主
【VC、ファンド等】

ブルーチップ
コンサルティング

新株主
【投資先経営者、他利害関係者】

・現金化ニーズ

流動性の向上

- ・現在価値より安く購入
- ・株主構成の再編

株主名義:
VC、ファンド等

購入【ブリッジ】売却

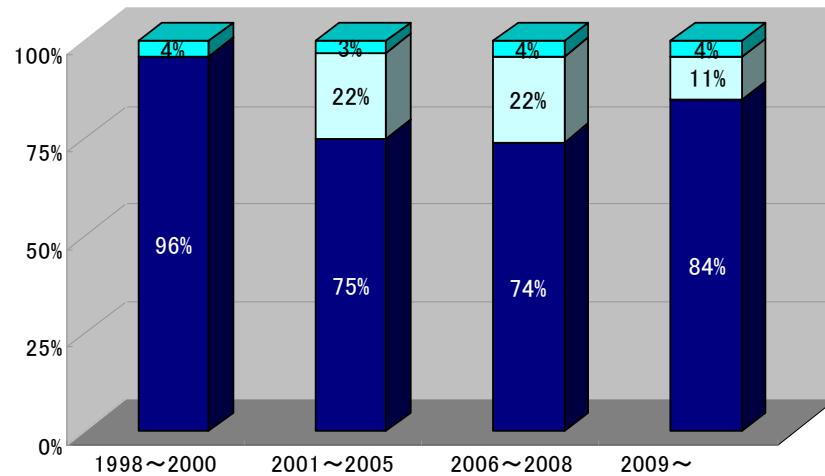
株主名義:
経営者

- 利害関係の調整(ex: 株主整理)
 - ・過去の様々なしがらみや利害関係を整理することでの企業再生
- 価値の相違
 - ・安くても売りたい理由、高くても買いたい理由
- 流動性とタイミング
 - ・ファンド償還や、現金化、損金計上に対応

バイアウト投資の現状

■ 小型案件が中心の日本バイアウト

日本のバイアウト案件サイズ



■ 100億円未満 ■ 100億円以上1,000億円未満 ■ 1,000億円以上

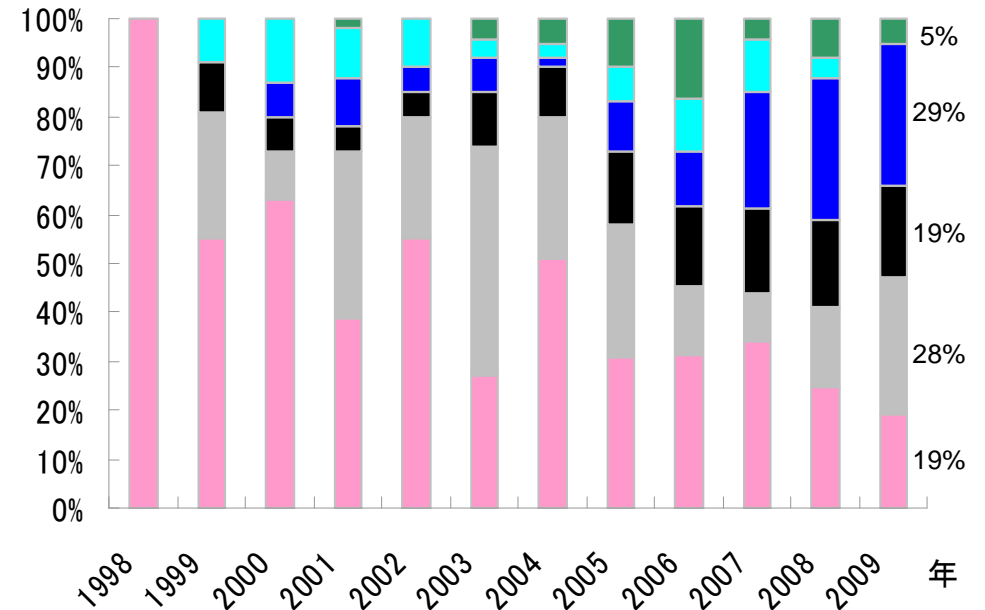
小規模案件の魅力

- 案件が豊富
- バイアウト投資ファンド間の競争が激しくない

出所：日本バイアウト研究所のデータを基にBCCが作成。

■ 世代交代による事業承継に安定した投資機会がある

日本のバイアウト案件タイプ



■ 子会社または一部事業の売却案件 ■ 再生案件
 ■ 事業承継案件 ■ 非公開化案件
 ■ 資本再構築案件 ■ ファンドの売却案件

魅力的な機会

- 創業者のリタイアに伴う事業継承
- 大企業のノンコア子会社や事業のスピンオフ

経営戦略(再生再建系)

■ 対象企業

- ・企業価値: ~20億円の国内中堅企業
- ・キャッシュフローが安定した企業
- ・以下のような特徴をもつ企業:
 - －事業継承
 - －ノンコア事業の売却
- ・古い経営体質の企業

■ 投資方針

- ・投資金額: ~10億円
- ・経営権を確保もしくは経営権に相当する権利を確保
- ・保有期間: 平均4年

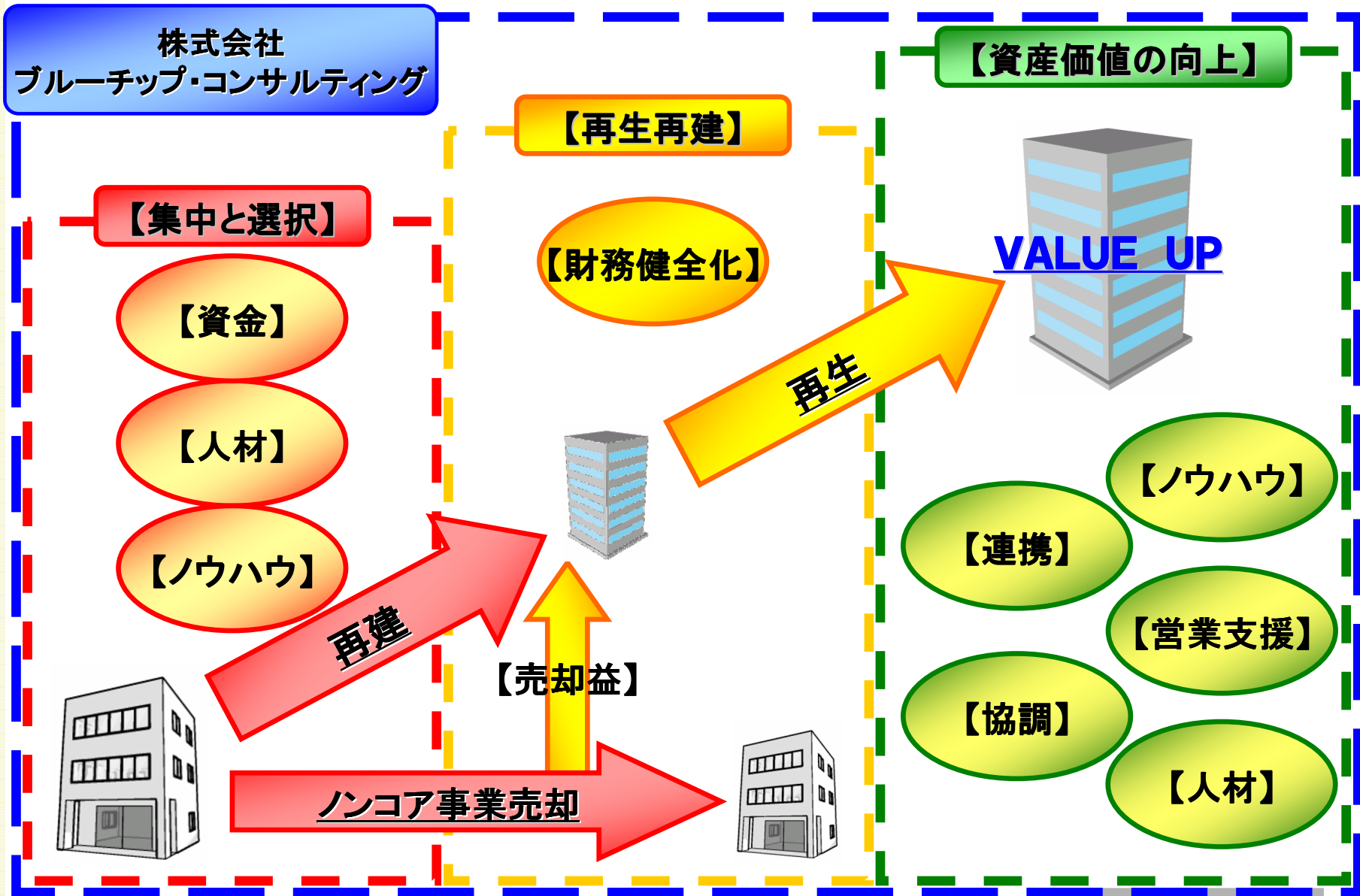
■ 企業価値向上

- ・投資先経営陣、管理職との協調体制の維持
- ・常駐型マネジメント人材の派遣
- ・事業の集中と選択の推進
- ・債権放棄の促進

■ 戦略

- ・投資時に創造的かつ戦略的なシナリオを構築
- ・戦略的パートナーに対する売却を中心にあらゆる機会を模索

経営戦略(再生再建系)フロー



投資実績 1.



マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション
(Microfinance International Corp. / MFIC)

■ 事業概要

- ー資金決済システムARIASペイメント・決済プラットフォームの提供
- ーマイクロファイナンスサービスの提供
- ー移民向け金融サービスの提供
- ーマネーロンダリング規制関連アドバイザリーサービスの提供

■ 主要取引先

米国連邦準備銀行、米州開発銀行、アフリカ銀行、KDDI、NTTドコモ、各国の携帯電話会社、一般個人等

■ 主要株主

KDDI、枋迫篤昌、グローバルブレイン、東京海上日動火災保険、アイネス、他

■ BCCサポートと実績

投資

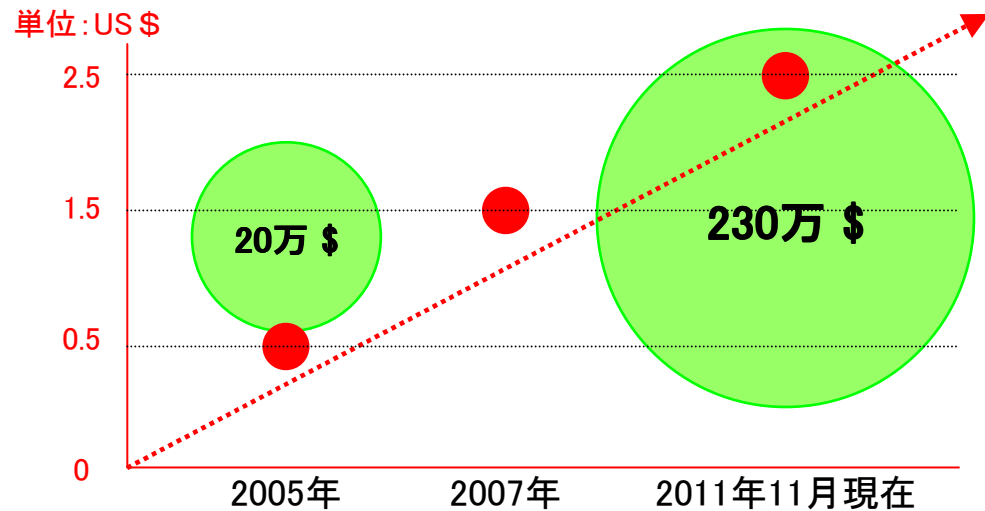
- ・2005年から優先株式の引受。

経営支援

信用補完

- ・大手機関投資家の出資による信用補完、
資産管理会社等の出資による資金調達。

■ 総投資額(簿価)、株価(第三者割当時)の推移



投資実績 2.



THIEN VIET SECURITIES (テンベト証券株式会社)

■ 概要

- ・ベトナム初の投資銀行。IFCからの出資を受けると同時に、GoldManSachsをはじめとする外資系投資銀行を顧客に持つ。2011年度第三四半期までの、ベトナム国内M&A案件シェアは40%超を占める。
- ・弊社取締役(Nguyen Truong Giang)がテンベト証券取締役ハノイ支店長を兼任。
- ・弊社(株式会社ブルーチップ・コンサルティング)および弊社VNTファンドは第3位の株主(2011年現在)です。

■ BCCサポートと実績

投資

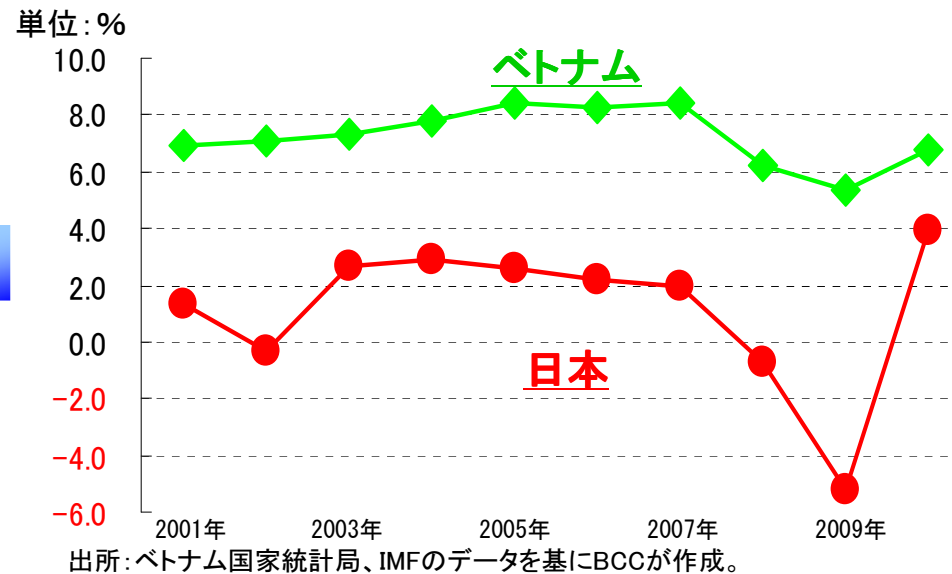
- ・約3億円出資(2006年～2007年)

株主提案

- ・出資による信用補完
- ・アライアンスのアレンジ。
- ・取締役の派遣。
- ・経営陣に対するアドバイスおよび提案。

経営支援

■ ベトナムのGDP成長率の推移



パートナー紹介

■ 大木健司

コンサルティング会社、IT会社にて、ビジネスの仕組み作りに携わる。その後、年金運用会社にて企業再生や海外進出事業に従事。2002年当社設立。当初は、食品、精密機械の貿易業務に従事し、スリランカ、カンボジア、タイ等、アジア各国駐在経験を積む。2004年よりファンド設定。金融インフラ会社（米）、鉱山会社（豪）、投資銀行（越南）への投資及び、資金調達コンサルティング事業に従事。国土交通省海外展開支援アドバイザー。大東文化大学法学部卒。

■ 北岡郁

国内金融機関や国内大手投資ファンドにおいて4年間、社内弁護士として勤務。会社法・金融商品取引法等を中心に、法務DDや投資実行、M&A契約締結等に数多く携わる。2011年愛宕中央法律事務所の立上げに参加。現在も元勤務先国内大手投資ファンドのセカンダリーチーム等と連携し案件処理に携わっている。慶應義塾大学経済学部卒。2007年弁護士登録（第二東京弁護士会）。

■ 高野省吾

2006年野村證券入社。リテール事業、ファイナンシャルプランニング業務に従事。2010年パートナーズ総合税理士法人入社。資産税部門を立ち上げ、大手金融機関の富裕層顧客に対するPB業務、相続事業承継スキーム提案を手掛ける。M&A、海外非上場会社へのリテール営業にも携わる。中央大学大学院法学研究科卒。

■ 堀元慎輔

2005年新日本有限責任監査法人国際部入所。日欧米の会計基準に基づく財務諸表監査、内部統制評価、ファンド監査を担当。2010年株式会社パートナーズコンサルティング入社。製造業、小売業、物流業に対するM&Aアドバイザー業務、デューデリジェンスを担当。立命館大学理工学部卒。公認会計士。

会社概要

| | |
|---------|--|
| 会社名 | 株式会社ブルーチップ・コンサルティング |
| 設立年 | 2002年10月 |
| 資本金 | 2,500万円 |
| 代表取締役 | 代表取締役 大木健司 |
| 取締役 | Nguyen Truong Giang (Director: Thien Viet securities Company) |
| URL | http://www.bcc-jp.com |
| ベトナム事務所 | 535 Kim ma, Ba Dinh, Ha Noi |
| 取引銀行 | 三井住友銀行 日比谷支店、東京中央支店 |
| カストディアン | Standard Chartered Bank Hanoi Branch |
| 登録番号／届出 | 適格機関投資家等特例業者（届出根拠法附則第48条） 管轄財務局 関東財務局 平成20年4月24日 |
| 主要投資先 | Micro Finance International Corp.（米国） Thien Viet Security Company（ベトナム） |

ファンドの主要条件（仮条件）

| | |
|--------------------|--|
| クロージング | 初回クロージングは、実務上、可及的速やかに実施。最終クロージングは、12か月を超えない範囲で実施予定（アドバイザー・コミッティーの承認により延長の場合あり） |
| 最低出資単位 | 1口1千万円単位 |
| 存続期間 | 最終クロージングから10年が経過した日の属する月の末日まで |
| 投資期間 | 初回クロージング日に開始し、最終クロージング日から5年が経過した日の属する月の末日（または株式会社ブルーチップ・コンサルティングが定めるそれ以前の日）までの期間 |
| 管理報酬 | ① 投資期間中は、出資金総額の年率2.0%（消費税別）相当額 ② 投資期間終了後は、処分未了の投資に係る投資金額の年率2.0%（消費税）相当額 |
| 優先的分配 （ハードルレート） | 8% |
| 成功報酬 | 20% |
| 設立費用 （消費税別） | 出資金総額の1%相当額を上限 |

免責事項

- 本資料は本ファンドの説明のために、株式会社ブルーチップ・コンサルティングが作成したもので、現時点における本ファンドに関する説明を行ったものに過ぎません。株式会社ブルーチップ・コンサルティングは、本資料を適宜、変更、訂正または修正することがあります。本資料に法的拘束力はなく、本資料の記載事項に変更、訂正または修正があった場合でも、株式会社ブルーチップ・コンサルティングは本資料の変更、訂正または修正を行うものではありません。
- 本資料に記載された特定の情報(特定の将来予測に関する記述および経済や市場情報を含みます。)は出版物から引用した、または他の当事者および株式会社ブルーチップ・コンサルティングが作成したものであり、かかる情報は本資料の提供日現在において更新されていない場合もあります。さらに、本資料にて利用されるという目的に鑑み、かかる情報源は信頼できるものと考えられますが、株式会社ブルーチップ・コンサルティング、あるいはその役員、従業員、株主、関連会社のいずれもかかる情報の正確性や完全性については一切の責任を負いません。
- また、本資料のうち過去の事実以外の記載は、将来の見通しに関する記載です。これらの将来の見通しに関する記載は、株式会社ブルーチップ・コンサルティングによる現在における予想、推定および見込みに基づいています。これらの記載は将来の運用実績を保証するものではなく、予測不可能な不確定要素および仮定に基づくことによる一定のリスクを伴います。したがって、実際の結果および運用成績はこれらの将来の見通しに関する記載により表明または予想されているものとは著しく異なることとなる場合があります。なお、本資料に記載された日時は本資料に別途記載がない限り日本における日時を示すものとします。